

委員会報告書

委員会名	平成30年度第3回生産技術委員会
開催日時	平成30年9月6日(木) 15:30~17:30
開催場所	JX石油開発(株) 3階319会議室
出席者 (敬称略)	吉良委員長、下河原副委員長、田代、脇園、鈴木、有井、森口、城戸、三上、岡本、村井、大内、内田、内山(運営幹事)、長(運営幹事) 以上25名中15名
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員交代 <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 2. 幹事会報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 主に第5回幹事会(8/14)の議事結果について報告。 ・ 平成30年度秋季講演会テーマは、「若手技術者-何を考え何をを目指す」とした。生産技術委員会推薦枠ではJOGMECの大槻氏が講演予定。 ・ HSE活動を行うワーキンググループ、委員会の設置について検討中。 ・ 来年度の春季講演会会場は国立オリンピック記念青少年総合センター(代々木)が予約済みである。同年度の秋季講演会会場(秋田)は来月中に予約手配予定。 3. 理事会報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都大学から石油技術協会誌の掲載論文を京大情報リポジトリに登録したいとの依頼があり、対応を検討中。 4. HP委員報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作井委員会で作成されたマニュアルを参考に、今後生産技術委員会でも委員会議事録をJAPT HPにアップロードしていくこととする。過去の議事録も可能な範囲で掲載する。 5. シンポジウム原稿の査読状況について <ul style="list-style-type: none"> ・ 11件すべての初稿を受領し、査読・著者への照会まで完了。論文としての投稿を希望する2件については編集委員会にて査読を実施する。生産技術委員会での査読対象となった9件については、9/25の編集委員会で査読結果を報告し、問題が無ければ原稿は正式に受理となる予定。 6. 平成31年度春季講演会シンポジウムテーマについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前アンケートの集計結果を共有した上で委員間でプレスト的な議論を行った。主な議論内容は以下の通り。 ・ 事前アンケート結果では、「開発事例」、「IOR/EOR」、「生産障害」に分類できるキーワードが多く集まった。また、アンケートの中で、委員から以下の3点が提案としてコメントも寄せられた。 <ol style="list-style-type: none"> ①来年金沢で6/2-6に開催されるPetroPhase2019(※)で扱われるプログラムの内容も考慮してテーマを考えてはどうか。 <p>※http://www2.issjp.com/petrophase2019/index.html 今年アメリカユタ州で開催された↓</p>

<https://petrophase2018.che.utah.edu/>

②産学連携を意識した「人材育成」に重きを置いてテーマ設定をしてはどうか。

③委員会が活動方針として掲げる「生産操業技術者への貢献」や「業際化」を考えて、近年扱っていない「地下技術に偏らない題材が出る」テーマ（例えば Facility や HSE 関連）に設定してはどうか。

- ・ ①については、Upstream から Downstream の分野までカバーされた conference であり、生産障害といったテーマも扱われており、参考になりそうだというコメントも出た一方で、現時点で同 conference もプログラムが定まっていない以上、スケジュール的に参考にしづらいのでは？、テーマをリンクさせてしまうとかえって良くないのではないか、開催時期がほぼ同じであるだけでなく、仮に双方の conference で発表する speaker が出るとなると同一内容の発表をするのは難しいのではないか、といった意見も出た。
- ・ ②については、昨今、JAPEx/INPEX/JOGMEC それぞれの研究所の間でも活発に議論しているテーマであり、企業だけでなく大学や研究機関も題材を出しやすいテーマであろう、という意見が出た。
- ・ ③については、近年各社で直面しているであろう Facility Integrity をテーマにすればだいぶ題材は集まるのではないか、HSE の括りになるかもしれないが近年操業現場で実施している災害対策は話題として出せる、Middle-Down Stream 寄りのテーマになるが、LNG や操業におけるデジタル化といったテーマで出せる題材はある、といったコメントがあった一方、大学や研究機関からはトピックを出しづらいのではないか、という意見も出た。
- ・ 再生可能エネルギーをテーマにした場合、題材はありそうか？という提案に対しては、地熱や太陽光発電等、各社取り組みが始まっているものはあるもののまだ発表できるような段階にないというコメントが多かった。また石油天然ガス開発と絡めた内容にするのが難しく、業界の本業の話を全く外したものにしてみると、講演会の看板となるシンポジウムのテーマとしては不適切ではないか、という意見も出た。
- ・ 今後は、本日の議論結果も踏まえ、アンケート結果からテーマの基となるキーワードをピックアップし、各社・各大学でそれに関した講演題材を調査することとする。

7. 平成 31 年度見学会について

- ・ 小委員会で見学先候補をリストアップした。委員から候補を募り、11 月の委員会にかけて絞り込み、12 月の委員会で最終候補地を絞り込む予定。

8. 大学での講演内容について

- ・ 昨年と同様、「我が国の石油・天然ガス開発業界の活動紹介」をテーマに講演する。多くの学生に集まってもらえるよう前広に準備を進めていく。

	<p>9. 次回以降の委員会開催場所について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 第4回 11月2日(金) 14:30~ @秋田大学・ 第5回 12月7日(金) 14:30~ @東北大学・ 第6回 1月17日(木) 15:30~ @ペトロサミット・ 第7回 3月7日(木) 15:30~ @JAPEX <p>10. 話題提供</p> <p>「Petra Nova CCUS Project」 JX石油開発(株) 技術管理部 大江 秀則</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---